

カリキュラム・ポリシー

技術経営専攻（専門職学位課程）においては、多様なバックグラウンドを持つ学生に対して、高い実践的な専門性と倫理観、国際的視野を持ち、多様な社会（産業界等）の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、社会を牽引することができる高度専門職業人である起業家・CXO※人材を育成する目的を実現するため、理論と実践の融合を図り、『東京理科大学専門職大学院教育課程連携協議会』と連携し、社会ニーズ・シーズに応える教育課程を開発・編成・実施する。

1. 急速に変化する社会ニーズに応え、課程の人材育成等に関する目的である起業家・CXO※等の構成要素に則した教育研究領域8領域（ビジョナリー・シンキング、イノベーション・起業、経営戦略と組織行動、先端科学技術と産業、経済学と財務・会計、マーケティング、リーダーシップとリスク、コンプライアンス）を設けて授業科目を開発し、ジョブ・ターゲットをより具体化した履修トラック（コース）3トラック（E-MOT、イノベーター、アントレプレナー）、学生個別の到達目標を実現する演習科目、トラックに共通する知識・知見を習得するコア科目、コア科目履修に必要な知識を教授する基礎科目、社会の新しいイノベーション等を社会の変化に合わせて教授可能な社会連携科目に区分し、開発された授業科目を重点的・効果的に配置し、教育課程を編成する。

※CXO：CEO、COO、CTO、CFOなどの企業活動における業務や機能の責任者の総称

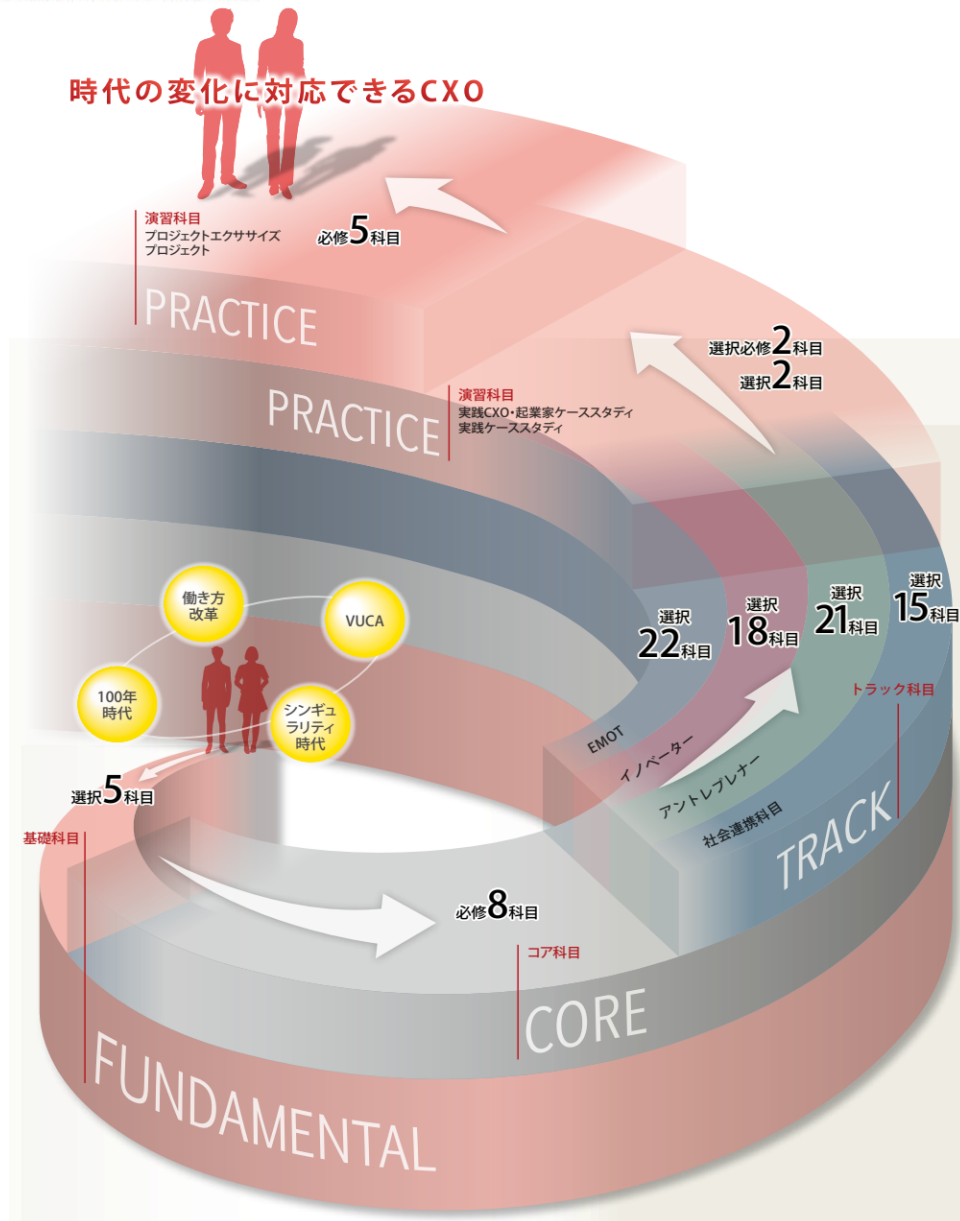
2. 「授業科目」では、常に社会状況を捉え、より高度で最新の専門的な実践知を段階的に身に付けるため、教育研究領域に科目区分による体系と重点的・効果的な授業科目を配置する。

3. 「演習科目」では、学生個別の人材育成等に関する目的を達するために、指導教員の指導下で、実践の理論化、企業調査活動、経営者等の各種インタビュー等により、学生個々の課題の明確化、仮説の設定、問題解決案を構想し、それを推し進めるプレゼンテーション及び論文等による論証・実践能力を総合的に身に付ける「プロジェクト」を体系的に配置し、学生・教員が共に経営者や起業家の講演等の1つのテーマを聴講し、個々の思考力や妄想力で討論を行い、他者とのバックグラウンドにより思考力や妄想力等の能力・知見に差異があることを理解し、学生個々の更なる思考力や妄想力等の総合的な能力・知見を涵養する授業科目を配置する。

4. 演習指導の過程では、高度職業人として国内外でグローバルな視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。技術経営専攻（専門職学位課程）においては、社会で養った実務能力を基礎に、新技術から製品化までのイノベーションを担う力を身に付けるコース（「MTIトラック」とする）及び新事業の開発やベンチャー起業等によるイノベーションを担う力を身に付けるコース（「MBAトラック」とする）の2本の柱により、「高い職業倫理を備え、高度専門職業人として課題を発見し解決へ導くことのできる人材を育成する」という目的を実現するため、『東京理科大学専門職大学院教育課程連携協議会』と連携し、社会ニーズ・シーズに応える教育課程を開発・編成・実施する。

CXO・起業家に必要な知識・知見を養う教育プログラム

本専攻は、理学と工学が一体となった「科学技術」と「経営」の実践的融合を図った教育で身につけた先端的な技術経営分野における学識と卓越した能力、グローバルな視点と高い職業倫理を持って、多様化する社会ニーズを分析予測し、イノベーション戦略を策定することにより、研究開発から市場化へのプロセスにおける一連のイノベーションを実現する人材を養成します。起業・イノベーション実現といった時代の流れに沿うよう、経済・経営に力点を置く形で、ジョブターゲットを明確にした教育プログラムを編成し、社会の急速な変化に敏速かつ革新的に対応し、牽引することができるCXO・起業家を育成します。



# カリキュラム

## PRACTICE

演習科目

実践CXO・起業家ケーススタディ1~3  
実践ケーススタディ

プロジェクトエクササイズ  
プロジェクト1~4

### グラデュエーション・ペーパーとは?

学生が個別に課題を設定し、調査研究、フィールドワーク、ディスカッションなどの手法や学生個々が持つ実践知を踏まえ、各履修教員のもとで、学生個々の入学目的に合わせて作成することで、本学での学修成果により、社会要請等に応えることを到達目標とする成果物です。ペーパー作成の区分は、学生個々の作成目的により「技術経営論文」「ビジネス企画提案」の2つに大別されます。ペーパー作成のプロセスは、1年次の「プロジェクトエクサ

サイズ」から、2年次の「プロジェクト1~4」からなり、「プロジェクトエクササイズ」で作成テーマ、概要、計画を明確にし、「プロジェクト1」から作成の着手に入り、「プロジェクト2」の終了時に進捗(中間)発表会を開催、学外の有識者・学識者で構成される助言委員会より助言を受けブラッシュアップを図り、「プロジェクト4」の終了時には、最終発表会を開催、主査(履修教員)、副査(本専攻教員)、学外副査の3名で構成する審査委員会により成果物を審査し、学位

授与の方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性を図ること、技術経営修士(専門職)としての質を高めています。また、最終発表会において発表する条件として、『技術経営論文』は、公開を前提とし、学会等で発表することとし、『ビジネス企画提案』は、「起業案(計画)」、「新規事業提案」、「プロトタイプ」に細分化し、一部を非公開とするが、履修教員(主査)と当該学生の所属企業や、実務経験者等が十分に意見交換を行い、企画提案が実現できることとしています。

## TRACK

トラック科目

EMOT

企業産業分析予測  
ユーザーイノベーション  
先進ビジネスモデル  
実践組織戦略  
アドバンスド戦略  
マネジメント  
サブスクリプション  
科学技術・産業政策  
フィンテック戦略  
グローバル・チャイナ産業  
イノベーション  
ICTビジネス展開  
標準化戦略  
企業合併と買収  
グローバル経済  
実践コーポレートファイナンス  
行動経済学  
チャンネルマネジメント  
アドバンスド  
マーケティング戦略  
ブランド戦略  
コーポレート・  
コミュニケーション  
21世紀に求められる倫理  
ビジョナリー・妄想力

## TRACK

トラック科目

イノベーター

企業産業分析予測  
ユーザーイノベーション  
実践組織戦略  
アドバンスド戦略  
マネジメント  
サブスクリプション  
科学技術・産業政策  
フィンテック戦略  
研究開発マネジメント  
技術・ものことづくり  
デジタルトランス  
フォーメーション  
グローバル・チャイナ産業  
イノベーション  
ICTビジネス展開  
標準化戦略  
デザインコンセプト創造  
ブランド戦略  
デジタルマーケティングと  
ソーシャルメディア  
21世紀に求められる倫理  
ビジョナリー・妄想力

## TRACK

トラック科目

アントレプレナー

企業産業分析予測  
ユーザーイノベーション  
フィンテック戦略  
技術・ものことづくり  
ICTビジネス展開  
スタートアップサイエンス  
デザインコンセプト創造  
デジタルマーケティングと  
ソーシャルメディア  
コーポレート・  
コミュニケーション  
標準化戦略  
先端科学技術の知財保護  
特許制度の基礎  
国際企業法務と戦略  
地域知財戦略  
ダイナミック環境下の知財戦略  
21世紀に求められる倫理  
ビジョナリー・妄想力  
マネジメント総論  
日本企業の海外展開

## 社会連携科目

アドバンスドリーダーシップ  
価値創造  
生命関連産業特別講義  
生活関連産業特別講義  
サービス関連産業  
特別講義  
製造産業特別講義  
金融産業特別講義  
イノベーション・  
起業特別講義  
経営戦略・  
組織行動特別講義  
先端科学技術特別講義  
経済・財務・会計特別講義  
マーケティング特別講義  
リーガル戦略特別講義  
リーダーシップ特別講義  
ビジョナリー・シンキング  
特別講義



## CORE

コア科目

イノベーションを生む企業文化  
組織進化論  
イノベーション志向型経営戦略論

科学技術論  
経営管理会計  
マクロ・ミクロエコノミクス

イノベーション志向型マーケティング  
コンプライアンス・リスク管理論

## FUNDAMENTAL

基礎科目

科学技術基礎  
財務・会計基礎  
マーケティング基礎

経営基礎  
経済学基礎

技術経営修士(専門職)の授与プロセス(修了要件等) [2021年度入学生]

### 【修了要件等】

修業年限は2年で、40単位以上を修得する。ただし、基礎科目に配置する授業科目は、修了要件に含めない。

- 必修科目を全て履修し、修得する。
- 実践CXO・起業家ケーススタディ1・2のどちらか一方を履修し、修得する。
- 2年次に配属されたトラックの選択科目6科目以上を履修し、修得する。

### 【履修の各種条件等】

- 教員から基礎科目の履修を指導された学生は、指定された授業科目を履修し、修得すること。
- 2年次に配置科目の履修は、授業科目毎に定める指定科目の修得を履修条件とする。
- 2年次に進級する条件は、全てのコア科目を履修し、修得する。
- 基礎科目は修了要件に含めない。